

2020年9月期 第3四半期連結決算説明資料 (2019年10月-2020年6月)

株式会社FPG

(東証第一部・コード:7148)



◆業績の総括	(ページ)
業績ハイライト	3
新型コロナウイルス感染症の影響/ Air Mauritiusの経営破綻の影響	4
コア事業 リースアレンジメント事業	5
多角化事業	11
販売ネットワーク	15
◆ご参考	
損益計算書/貸借対照表	17
株主優待制度の一部変更について	19
「2019年度Leasing Deal of the Year (East)」受賞	20
外部指数への選定	21

業績の総括



- ◆ 政府による新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言の影響により、4月・5月の営業活動が大きく制約されたものの、6月には回復
- ◆ 売上高は概ね想定どおりの進捗であり、第4四半期の販売を加速し、通期予想の達成を目指す
- ◆ Air Mauritiusの経営破綻に伴う損失を第3四半期で3.0億円(当期累計で8.3億円)計上

(単位：億円)

	2019年9月期 第3四半期(累計)		2020年9月期 第3四半期(累計)			2020年9月期 5/13修正 通期予想	進捗率	2020年9月期 第3四半期 (4月-6月)
		対売上高比		対売上高比	対前年 同期比増減			
売上高	200.4	100.0%	99.0	100.0%	▲50.6%	132.0	75.0%	16.0
リースアレンジメント事業	148.5	74.1%	80.4	81.2%	▲45.8%	110.0	73.2%	10.3
多角化事業	51.9	25.9%	18.5	18.8%	▲64.2%	22.0	84.5%	5.7
売上総利益	149.3	74.5%	73.4	74.1%	▲50.8%	-	-	11.4
販売費・一般管理費	45.1	22.5%	46.1	46.5%	+2.0%	-	-	15.4
営業利益	104.1	52.0%	27.3	27.6%	▲73.8%	40.0	68.3%	▲3.9
経常利益	98.4	49.1%	26.7	27.0%	▲72.8%	44.0	60.7%	▲5.4
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	68.4	34.1%	17.9	18.1%	▲73.7%	31.0	58.0%	▲4.1
出資金販売額	1,096.0	-	681.4	-	▲37.8%	950.0	71.7%	115.0
組成金額	4,410.6	-	1,424.9	-	▲67.7%	※ 1,700.0	83.8%	179.1

※組成金額の通期予想は、案件を厳選して組成する方針のため、2,520億円から1,700億円に再修正(P8参照)

◆ 新型コロナウイルス感染症の影響

- 6月は出資金の販売に回復傾向が見られたことから、第4四半期の販売を加速し、通期予想の達成を目指す
- リースアレンジメント事業の組成は、借入人の与信審査を厳格化し、案件を選別
- 在庫(商品出資金)については、Air Mauritius以外の破綻はなし

◆ Air Mauritiusの経営破綻の影響

- 2020年4月に経営破綻したAir Mauritiusに関する保有在庫(販売用航空機)及びノンコースローン等については、2020年9月期第2四半期決算より連結決算に反映
- 経常利益に対する影響(売上原価及び営業外損益)

第2四半期	▲	5.2億円
第3四半期	▲	3.0億円
当期累計	▲	8.3億円(含む支払利息等1.6億円)

(参考)2020年6月末
B/S概要 (単位: 億円)

販売用 航空機 164	ノンコース ローン 136
	正味リスク 28

正味リスク減少分6.7億円 ※

■ 今後の業績への影響

2020年7月現在、関係者との協議が進行中。
今後新たに開示すべき事実が発生した場合には速やかに公表

※当期累計損失8.3億円-支払利息等1.6億円

- ◆ 緊急事態宣言下において4月・5月の営業活動が大きく制約されたが、6月から本格化し、第3四半期における出資金販売額は115億円と概ね想定した水準に回復
- ◆ 航空機案件において、採算性の低い案件の販売が多かったことから、手数料率は低下

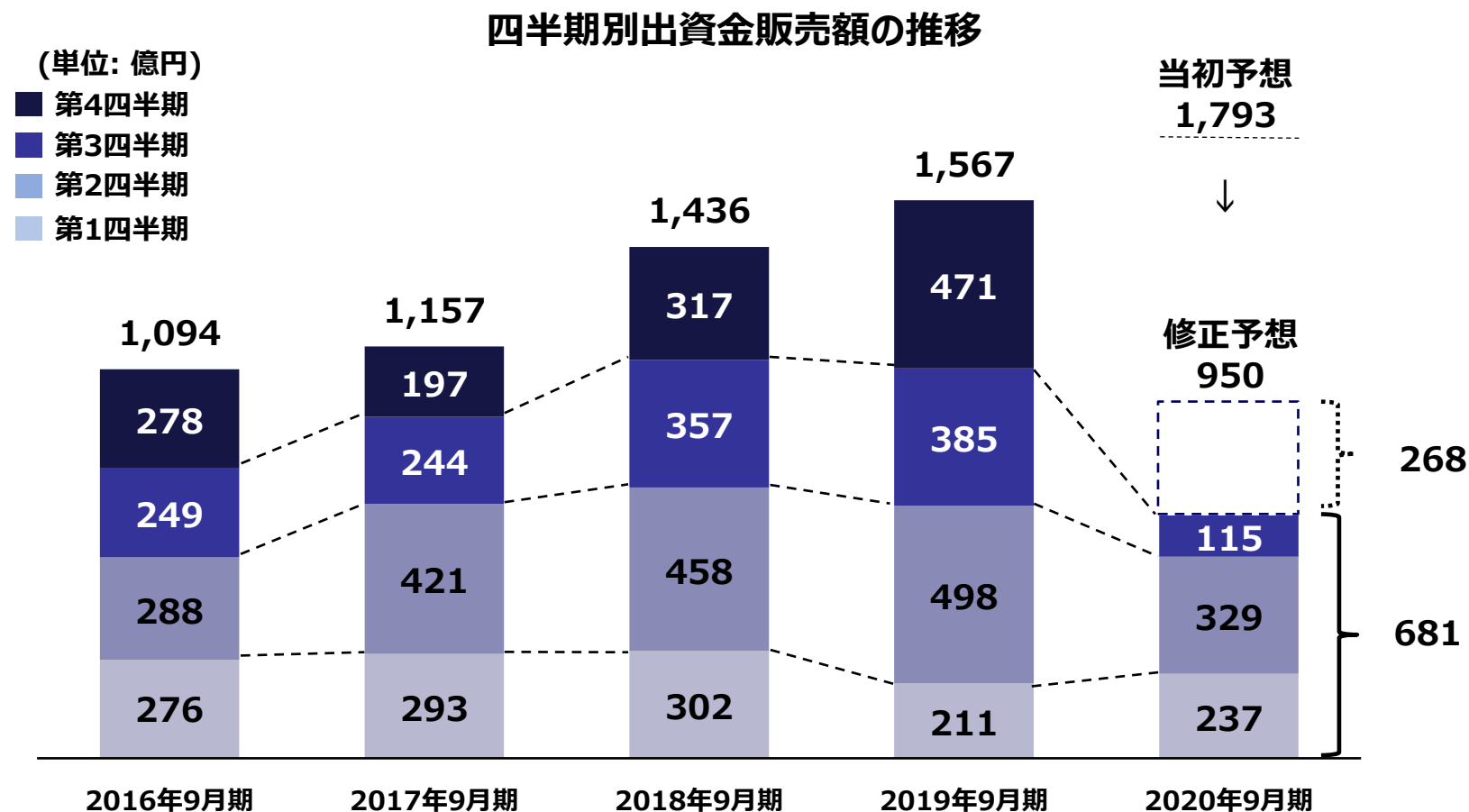
(単位：億円)

		2019年9月期 第3四半期(累計)		2020年9月期 第3四半期(累計)		対前年 同期比 増減
リースアレンジメント事業売上高		148.5		80.4		▲45.8%
出資金 販売額		1,096.0	構成比	681.4	構成比	▲37.8%
	航空機	462.1	42.2%	356.4	52.3%	▲22.9%
	船舶	505.2	46.1%	229.4	33.7%	▲54.6%
	コンテナ	128.6	11.7%	95.5	14.0%	▲25.7%
手数料率 (売上高/出資金販売額) ※1		15.3%		12.3%		-
組成金額		4,410.6		1,424.9		▲67.7%
商品在庫 ※2		1,101.6		910.4		▲17.4%

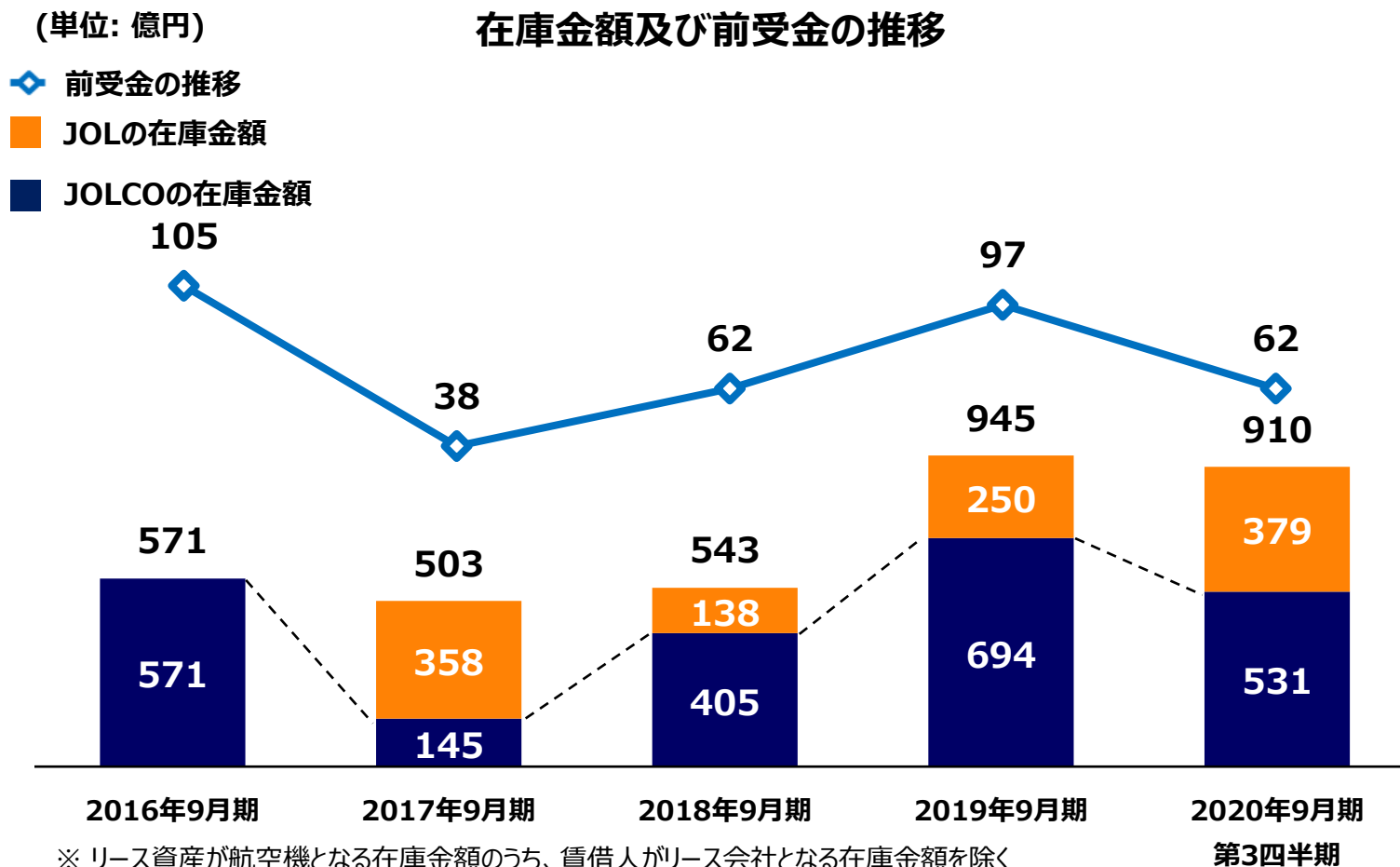
※1 手数料率：匿名組合契約のフルエクイティ案件及び信託案件の出資金販売額を34%で換算

※2 商品在庫：商品出資金及び金銭の信託(組成用航空機)の合計

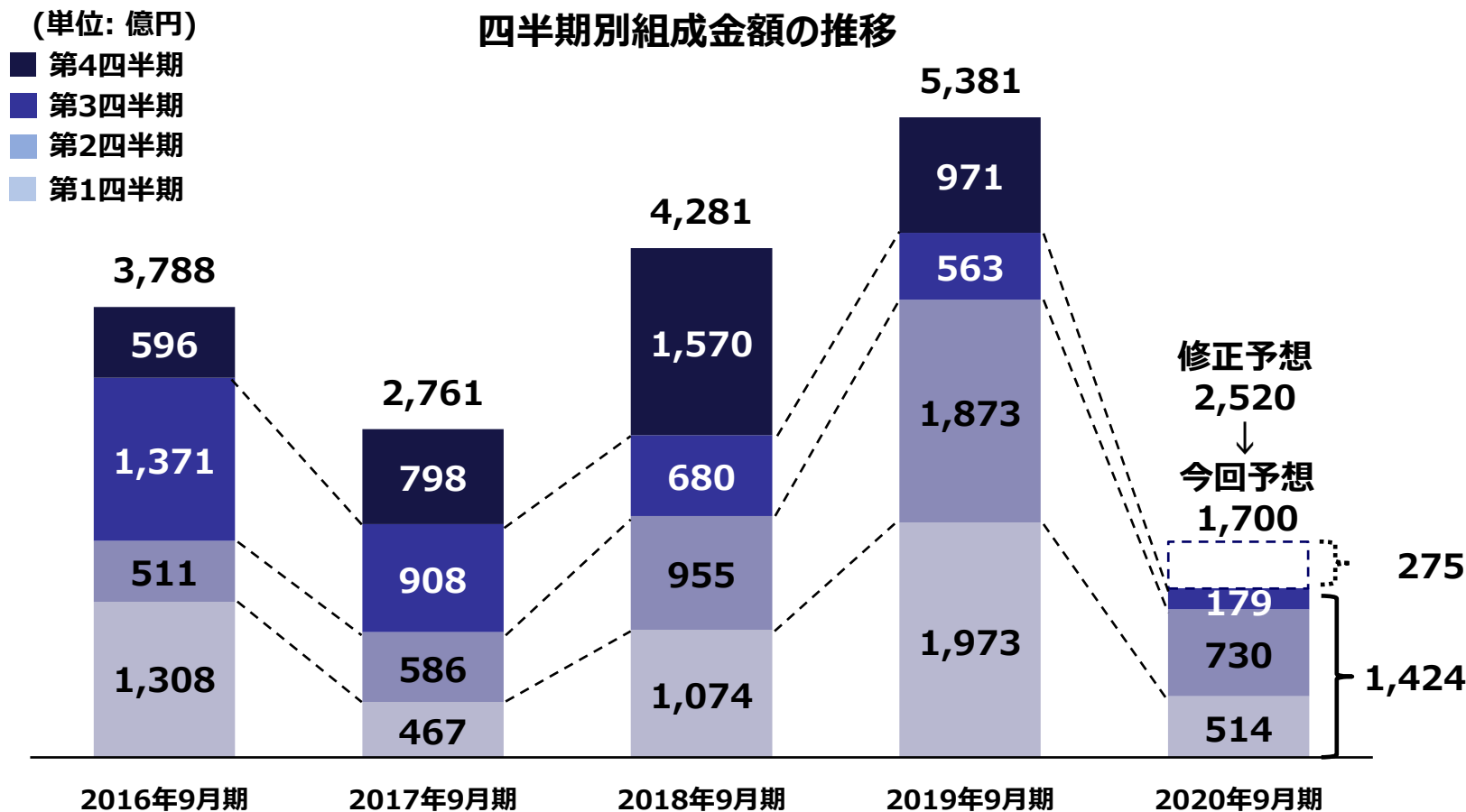
◆ 船舶、コンテナ、リース会社向け航空機案件の需要は底堅く、6月の出資金の販売に回復傾向が見られたことから、第4四半期の販売を加速し、出資金販売額の通期予想の達成を目指す



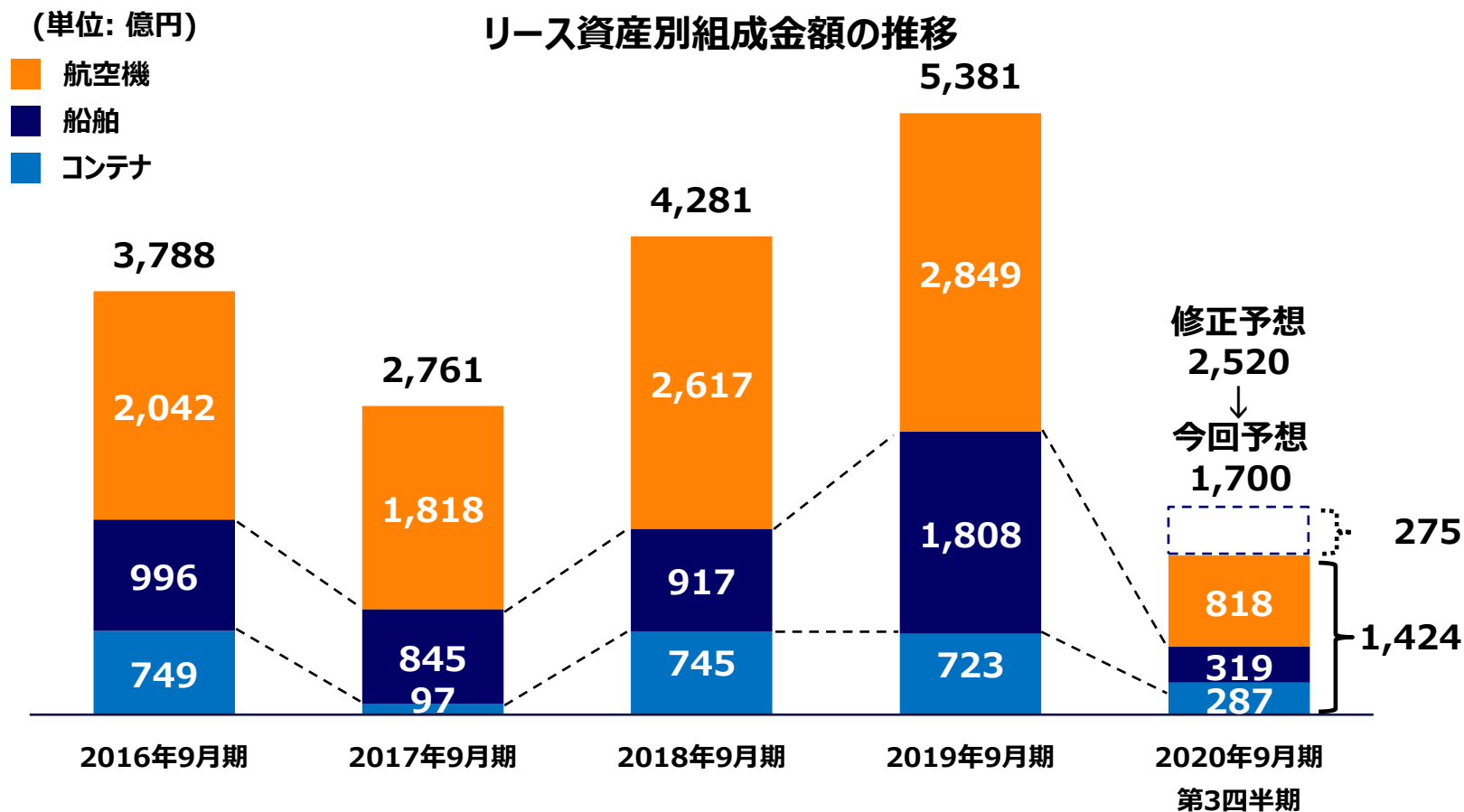
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響や販売の状況を見極めながら、適正な在庫水準を維持
- ◆ 借入人が航空会社の案件の在庫金額は、2020年6月末のJOLCOの在庫金額のうち、3割程度に抑制



- ◆ 新型コロナウイルス感染症の航空会社への影響を考慮し、組成案件を厳選
- ◆ 組成金額の通期予想を2,520億円から1,700億円に下方修正



◆ 従来より航空機に過度に依存しない組成を行っており、今後もリース資産のバランスを意識した組成方針を継続



- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、大口シングルインベスター向けの販売の停滞が予想されるため、新規の組成については、慎重に対応する方針

JOLの組成・販売実績の推移

会計年度	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期 第3四半期
組成実績	3機	15機	4機	11機	4機
販売実績	5機	4機	12機	8機	1機
販売実績 (うち信託受益権方式)	-	(2機)	(7機)	(5機)	(0機)

(参考) JOLCOとJOLについて

JOLCO :リース満了時に、リース資産の購入選択権(Call Option)が賃借人へ付与されている取引
出資金を小口化し、販売。出資金販売額の約8割がJOLCO(2019年9月期実績)

JOL :購入選択権(Call Option)が付与されていない取引
大口シングルインベスター向けの販売が中心

◆多角化事業^{※1}においては、海外子会社及び今期買収により子会社化した2社が投資管理サービス事業等^{※2}の売上高の増加に貢献したものの、前期の不動産一棟販売の特殊要因が今期は発生しないことから、前年同期比で売上高が減少

多角化事業の売上高

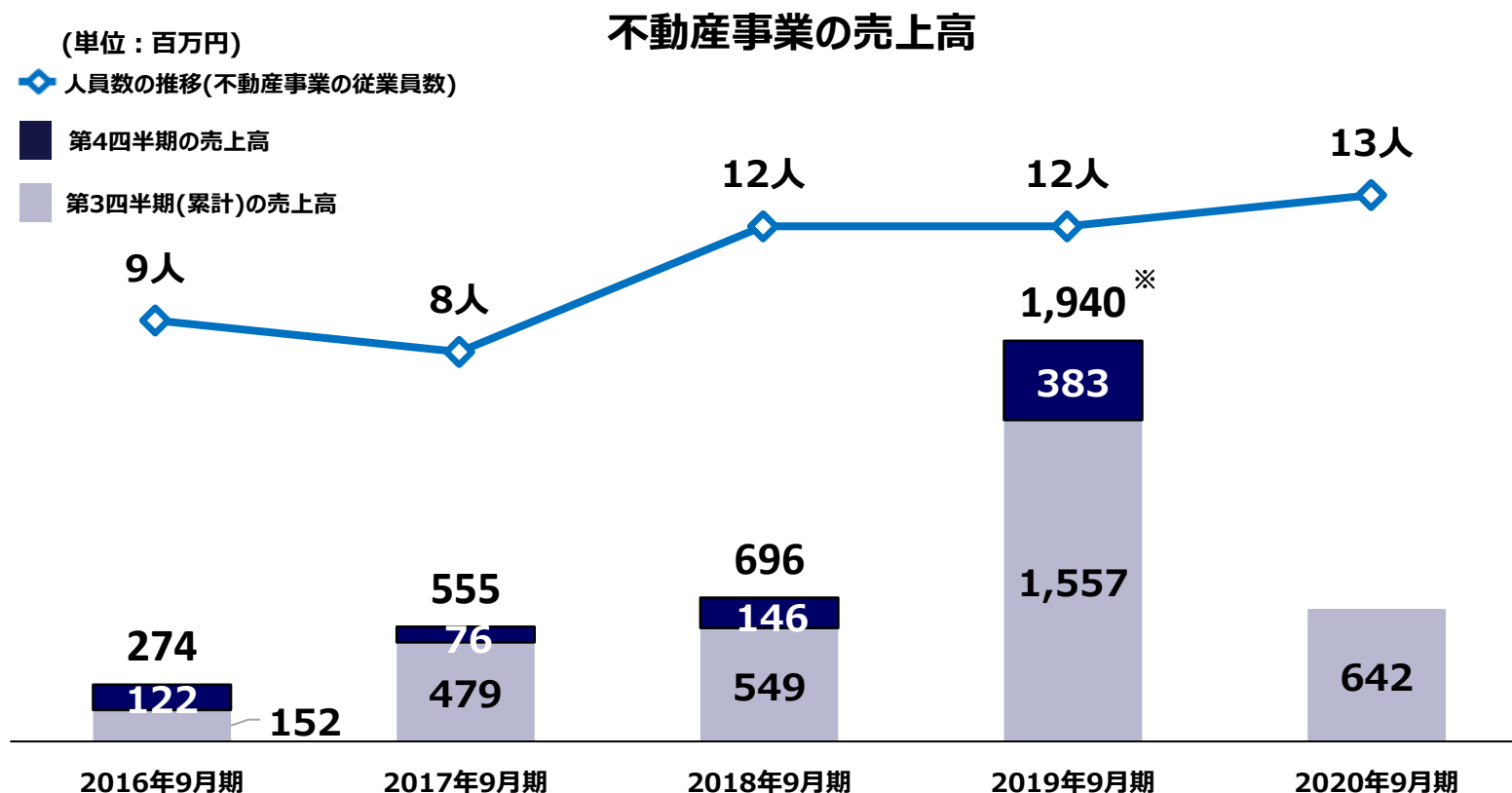
(単位：百万円)

	2019年9月期 第3四半期(累計)		2020年9月期 第3四半期(累計)		対前年 同期比 増減
		対 売上高比		対 売上高比	
連結売上高合計	20,049	100.0%	9,905	100.0%	▲50.6%
多角化事業売上高合計	5,196	25.9%	1,857	18.8%	▲64.2%
不動産事業	3,867		642		▲83.4%
保険事業	821		234		▲71.5%
M & A 事業	139		66		▲52.3%
投資管理サービス事業等	366		913		+149.1%

※1 多角化事業とは、当社の主要事業であるリースアレンジメント事業以外の事業を総称するもの

※2 投資管理サービス事業等とは、海外関係子会社の投資管理サービス事業、プライベート・エクイティ事業、証券・信託、航空事業、IT事業等の国内関連子会社の事業を総称するもの

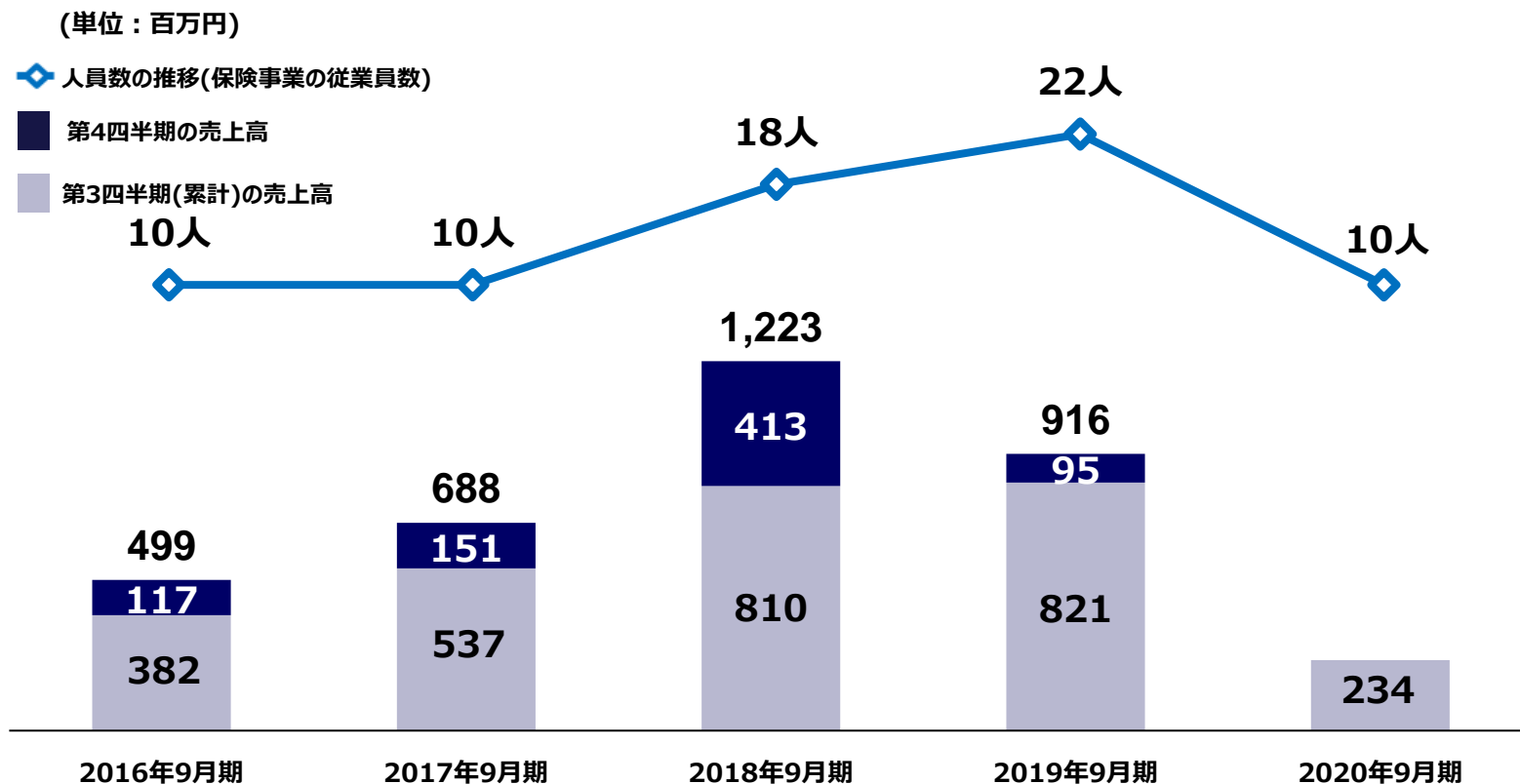
- ◆ 不動産事業は、前期の特殊要因である一棟販売が今期は発生しないものの、不動産小口化商品の需要は底堅く推移
- ◆ 既存投資家の途中売却需要に対応し、セカンダリーマーケットを構築したことで、不動産小口化商品の商品性が向上
- ◆ コロナ禍で第3四半期は慎重な組成スタンスを維持していたが、第4四半期以降は新規組成を推進



※ 2019年9月期は1棟販売に関する手数料換算を含めた売上高

- ◆ 保険事業は、昨年度の税制改正に伴い需要が後退。
保険担当者のリースアレンジメント事業への配置転換を推進

保険事業の売上高^{※1}



※1 保険会社等より受領する手数料収入(保険仲立人と保険代理店の売上高の合算)

- ◆ FPG AMENTUMの航空機投資管理サービス事業の売上高が大幅に拡大
- ◆ 今期買収により子会社化したFPGテクノロジーと北日本航空の売上高が貢献

投資管理サービス事業の売上高

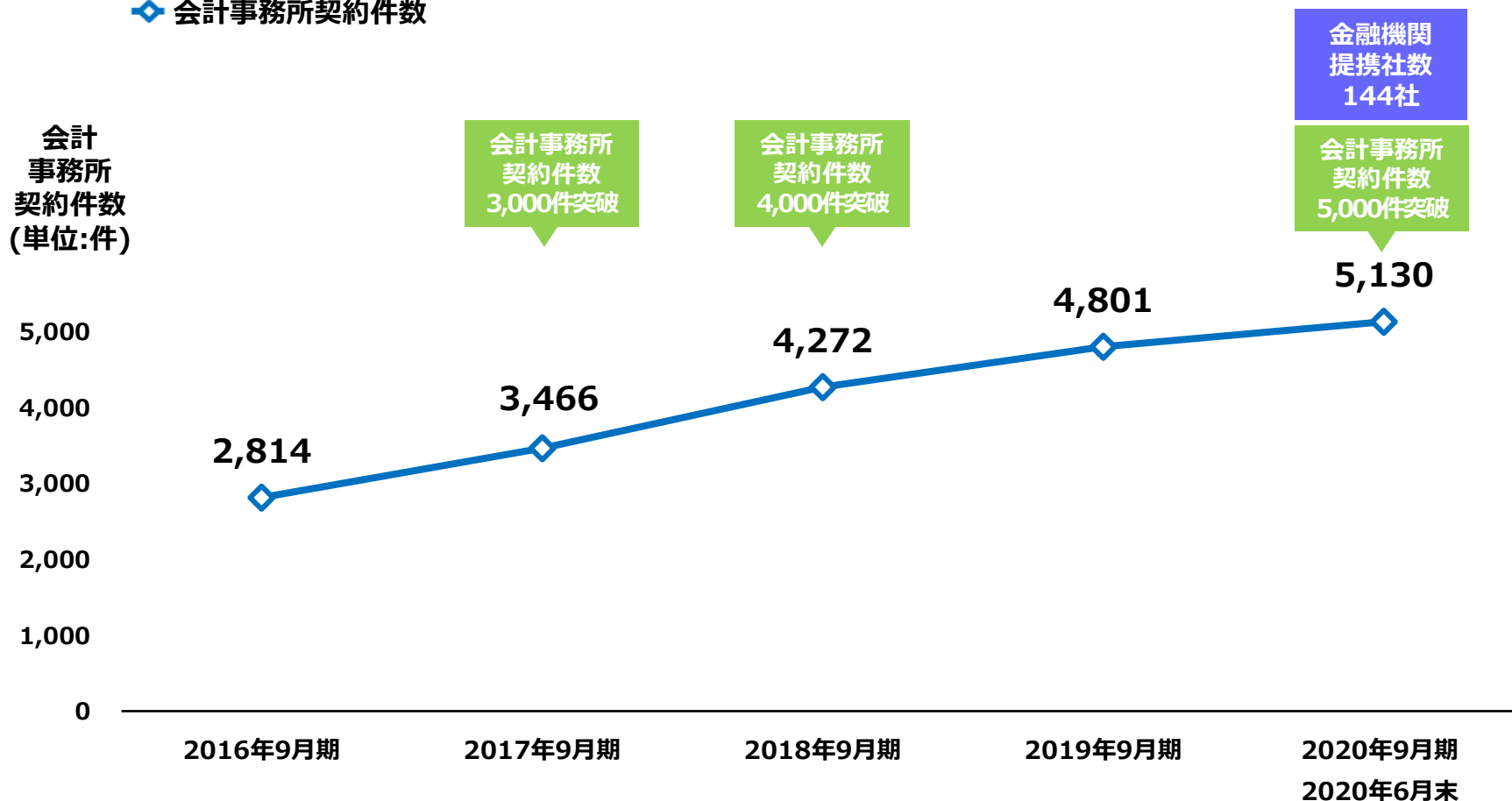
(単位：百万円)

事業	運営主体	2019年9月期 第3四半期(累計)	2020年9月期 第3四半期(累計)	前年 同期比増減
投資管理サービス事業等		366	913	+149.1%
航空機投資管理サービス事業	FPG AMENTUM [※]	226	616	+172.3%
IT事業	FPGテクノロジー	0	123	-
航空事業	北日本航空	0	66	-
証券・信託・投資事業	その他	140	106	▲24.2%

※ FPG AMENTUMの売上高については、投資管理サービス事業による売上高のみを記載

- ◆ 2020年6月末付けで、会計事務所との契約件数は5,130件
- ◆ 金融機関の提携社数は144社に達し、地方銀行、大手証券をほぼ網羅
- ◆ ネットワークの拡大とともにクロスセルの可能なネットワークをさらに強化

◇ 会計事務所契約件数



ご参考



(単位：億円)

	2019年9月期 第3四半期(累計)	2020年9月期 第3四半期(累計)	対前年 同期比増減
売上高	200.4	99.0	▲50.6%
①売上原価	51.1	25.6	▲49.9%
売上総利益	149.3	73.4	▲50.8%
販売費・一般管理費	45.1	46.1	+2.0%
営業利益	104.1	27.3	▲73.8%
②営業外収益	10.6	17.7	+66.8%
③営業外費用	16.4	18.3	+11.9%
経常利益	98.4	26.7	▲72.8%
税引前純利益	97.9	26.6	▲72.8%
法人税等合計	29.5	8.3	▲71.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	68.4	17.9	▲73.7%

①売上原価：顧客紹介者への支払手数料、リースアレンジメント事業の案件組成コスト、販売用航空機の商品出資金評価損を含む

②営業外収益：一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息を受取利息として含む

③営業外費用：資金調達に伴う支払利息、JOL案件に伴うドル調達の支払利息を含む

貸借対照表の概要

(単位：億円)

資産	2019年9月期	2020年9月期 第3四半期	対前期増減
流動資産	1,210.9	1,444.9	+233.9
現金預金	165.8	255.7	+89.9
①商品出資金	754.3	574.9	▲179.3
②金銭の信託(組成用航空機)	191.0	335.4	+144.3
③販売用航空機	0.0	164.5	+164.5
④組成用不動産	33.7	0.1	▲33.6
固定資産	47.4	56.4	+9.0
資産合計	1,258.3	1,501.3	+242.9
	2019年9月期	2020年9月期 第3四半期	対前期増減
流動負債	824.0	986.7	+162.7
短期借入金等	658.9	881.3	+222.4
SPCノンリコースローン(1年以内)	0.0	10.9	+10.9
⑤前受金	97.9	62.5	▲35.3
固定負債	104.5	233.3	+128.7
長期借入金等	101.8	104.3	+2.4
SPCノンリコースローン	0.0	125.0	+125.0
負債合計	928.5	1,220.0	+291.4
純資産合計	329.8	281.3	▲48.4
負債純資産合計	1,258.3	1,501.3	+242.9

- ①商品出資金：リースアレンジメント事業で当社が投資家に販売するまで一時的に立替えている出資金
- ②金銭の信託(組成用航空機)：航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③販売用航空機：Air Mauritiusを賃借人とするオペレーティング・リース案件のためにSPCが保有する航空機
- ④組成用不動産：不動産小口化商品の在庫
- ⑤前受金：リースアレンジメント事業に係る手数料の前受金を含む

- ◆ 一定の株式数を長期的に保有していただける株主層の拡大を図ることを目的として、対象者と優待金額を変更

保有株式数と継続保有期間に応じた基準でUCギフトカードを進呈

保有株式数	継続保有期間			基準日	贈呈回数
	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上		
1,000株以上 3,000株未満	2,000円	2,500円	3,000円	9月末日	年1回
3,000株以上 5,000株未満	6,000円	8,000円	10,000円		
5,000株以上	12,000円	15,000円	20,000円		

継続保有期間は、半期ごと（9月末日現在、及び3月末日現在）の株主名簿に同一株主番号にて連続して記録される回数を基に判定

継続保有期間1年以上とは、同一株主番号にて3回連続で記録された状態をいい、同様に、2年以上とは5回連続、3年以上とは7回連続で、それぞれ記録されること

（新制度の適用時期）

- 2020年9月末日現在の当社の株主名簿に記録された株主様を対象に実施
- 新制度における継続保有期間の判定は、2020年9月末日時点から過去に遡って実施
- 優待品は、2020年12月末発送予定

2020年4月にMarine Moneyの「2019年度 Leasing Deal of the Year (East)」を受賞





JPX日経インデックス400



**S&P/JPX カーボン・
エフィシエント指数**

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL : (03) 5288-5691

E-mail : ir@fpg.jp

URL : <https://www.fpg.jp>